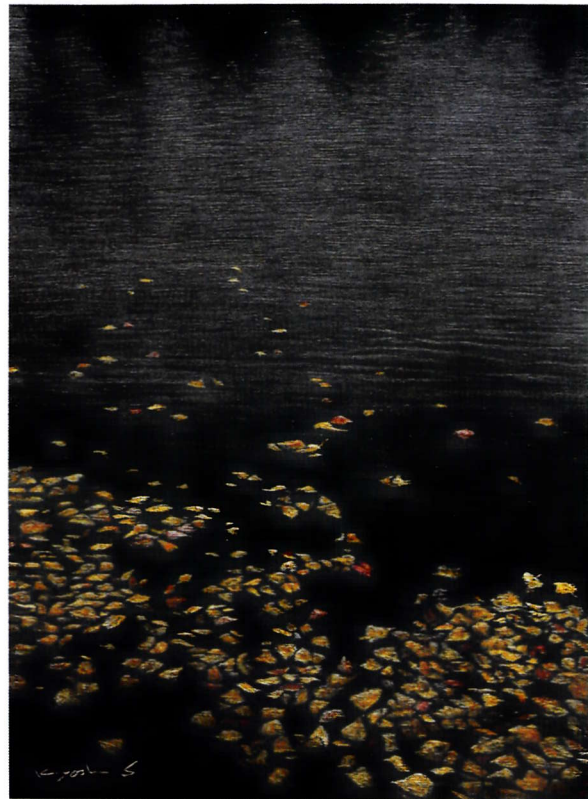


以前、永 六輔さんから「人は何故歌を唄うのか?」と尋ねられた事があった。  
「それは、ある想いを言葉よりも深い所に届けたいからだと思う。」  
…と私は答えたのだが、その思いは今も同じだ。  
それどころか、ここ数年は大切な方が相次いで逝ってしまい、  
もっと電話をすればよかった、もっと手紙を書けばよかったと後悔すると共に、  
もしかしたら、歌なら人伝に、風の便りに、  
あの方に届くかも知れない…と思うようになっている。  
歌は例え歌詞を忘れることがあっても、メロディーはいつまでも忘れない。  
もしメロディーにびったりとくっついて、離れることのない詞で歌が書けたなら、  
その歌は決して忘れられないものになるだろう。  
そうなれば、その歌は言葉よりも深い所、魂にまで届き、  
何もかも越えて、遠くの人に届いてくれるような気がする。  
そして、歌に限らず、言葉よりも深い所に届くもの、それが芸術であり、  
そういう歌なら「時代」も「国境」も「時空」も越えて、  
人々の心に魂に伝わって行くのだらうと思う。

きち兵衛



# 色即是空

手仕事屋きち兵衛

# 1 般若心経

読経 高橋卓志

# 2 色即是空

作詞 永六輔 作曲/手仕事屋さち兵衛  
編曲 TOSHITARO

# 3 命連綿

作詞 永六輔 作曲/手仕事屋さち兵衛  
編曲 TOSHITARO

# 4 風の誘い

～浅間温泉「ホテル 玉の湯」イメージソング～  
作詞・作曲/手仕事屋さち兵衛  
編曲 TOSHITARO

# 5 旅路

作詞・作曲/辻 幹雄  
編曲 TOSHITARO

# 6 ただそれだけ

作詞・作曲/手仕事屋さち兵衛  
編曲 TOSHITARO

# 7 さよならをしなくっちゃ

作詞・作曲/手仕事屋さち兵衛  
編曲 TOSHITARO

# 8 ボトルキーブ

作詞・作曲/手仕事屋さち兵衛  
編曲 TOSHITARO

# 9 ごめんなさいそしてありがとう

作詞 海川光恵・手仕事屋さち兵衛  
作曲/手仕事屋さち兵衛 編曲/TOSHITARO

# 10 風の桜衣

作詞・作曲/手仕事屋さち兵衛  
編曲 奥慶一

# 11 風の仙人

～天保義民150年祭記念「天保義民のうた」～  
作詞・作曲/手仕事屋さち兵衛  
編曲 奥慶一

# 12 この町がふる里

作詞・作曲/手仕事屋さち兵衛  
編曲 TOSHITARO

# 13 何処へ

作詞/松本礼児 作曲/穂口雄右  
編曲/TOSHITARO

# 14 カヴァティーナ

演奏/伊東心平 作曲/Stalley Myers

# 般若心経

観自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五蘊  
皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不異色  
色即是空空即是色受想行識亦復如是舍利  
子是諸法空相不生不滅不垢不淨不增不減  
是故空中無色無受想行識無眼耳鼻舌身意  
無色聲香味觸法無眼界乃至無意識界無無  
明亦無無明尽乃至無老死亦無老死尽無苦  
集滅道無智亦無得以無所得故菩提薩垂依  
般若波羅蜜多故心無罣礙無罣礙故無有恐  
怖遠離一切顛倒夢想究竟涅槃三世諸仏依  
般若波羅蜜多故得阿耨多羅三藐三菩提故  
知般若波羅蜜多是大神咒是大明咒是無上  
咒是無等等咒能除一切苦真實不虛故說般  
若波羅蜜多咒即說咒曰  
羯諦羯諦波羅羯諦波羅僧羯諦菩提薩婆訶  
般若心経

## 色即是空

草の色 花の色  
あるがままに 生きているのに  
あなたはいない もういない  
いない いない いない

風の色 空の色  
あるがままに そこにあるのに  
あなたはいない もういない  
いない いない いない

色即是空 空即是色  
いるのに いない いないのに いる  
あなたは私の中に  
ふるさとに いる いる いる

山の色 海の色  
あるがままに 生きているのに  
あなたはいない もういない  
でも いる いない いる いない  
いる いない いる

## いのちれんめん 命連綿

母の母の 母の母の母の 母の母の母に逢いたい  
父の父の 父の父の父の 父の父の父に逢いたい  
オトコがいて オンナがいて  
出逢い 愛し合い 生命がつながる  
明日の生命が生まれる

親子 親子 親子 親子 親子 親子 親子は語ろう  
家族 家族 家族 家族 家族 家族 家族は語ろう  
親がいて 子供がいて  
向かい合い 語り合い 家族がつながる  
明日の家族がつながる

明日の生命 明日の家族  
生きていれば 何とかなる  
何とかなるまで 生きていればいい  
生きていればいい

孫の孫の 孫の孫の孫の 孫の孫の孫に逢いたい  
祖父の祖父の 祖父の祖母の祖母の 祖母の祖父の祖母に逢いたい  
あなたがいて 私がいて  
出逢い 愛し合い 生命がつながる  
明日の家族が生まれる

明日の生命が生まれる

## 風の誘い

～浅間温泉「ホテル玉の湯」イメージソング～

涙がこらえ切れず 心がうつむいたら  
黙って風の中で 耳を澄ませよう  
「おいで そのままで 悲しみを持っておいでよ」  
旅に誘う風が 優しくささやく

一人で旅に出たら 知らない町に降りて  
この身を風に任せ 吹き寄せられたい  
人は誰も皆 風に吹かれてる旅人  
自分心ひとつ 荷物はいらない

季節が動く瞬間は 必ず風が吹いて  
季節を先に察して すべてを巡らす  
風が吹いたなら それは確かな前ぶれ  
風に抱かれたくて 明日は旅立つ

人は誰も皆 風に吹かれてる旅人  
風に抱かれたくて 明日は旅立つ  
風に抱かれたくて 明日は旅立つ

## 旅路

瞳に輝く 星の光は  
遠く旅路の 想いをのせて  
言葉に尽くせぬ いにしえ人の  
心よ届けと 風の調べが

ひたすら歩む 道遠く  
祈りの心は 風にのり  
めぐり来る 季節の声

瞳に想いを のせてあなたは  
ひとり佇む 岬の道に  
帰れぬ旅路は 過ぎゆく日々  
いのちの花の 便りをのせて

ひたすら歩む 道遠く  
祈りの心は 風にのり  
めぐり来る 季節の声

ひたすら歩む 道遠く  
祈りの心は 風にのり  
めぐり来る 季節の声

## ただそれだけ

愛してるとか 恋してるとか  
美しい言葉を使うけど  
心を装うのが言葉のようで  
後からふと空しくなる事がある

きれいな君の手を この胸に重ねて  
確かめればわかる 熱い鼓動

男に女 女に男  
引き合うはずだよ 磁石のように  
いつもの河が ただ流れるように  
僕から君 君から僕 通うだけ

誰よりもじゃなくて 誰以下でもなくて  
ただ今すぐ傍に 行ってみたいだけ

映画みたいに これこそ愛と  
教えるようなものじゃなく  
僕のとなりに君が寝息を立て  
眩しい陽が差したらなら起こされる

ささいな繰り返し ささやかな暮らしに  
君を持ち込みたい ただそれだけ

ささいな繰り返し ささやかな暮らしに  
君を持ち込みたい ただそれだけ

## さよならをしなくっちゃ

さよならをしてみた サラリとかっこつけて  
なびかぬあの娘は罪つくり 僕の心ガタガタ

夏の日影踏みは 眩しすぎる君が悪い  
追いかけて近づけば 僕の影がないよ  
ふと気が付けばもう夜

あの時のときめきが あの時になければ  
僕だってこんな風じゃないさ もっと男らしいはずさ

あなたには普通でも 僕には眩しすぎる  
昏が眼差しが悩ましすぎる  
mn... やっぱあなたが好き

本当の事言えば わかってる思いさ  
かってに惚れた僕が悪い あなたに罪はない

運命のいたずらの 好きな天使がいただけさ  
違う矢のすれ違い あなたと僕の恋  
ああ さよならをしなくっちゃ

運命のいたずらの 好きな天使がいただけさ  
違う矢のすれ違い あなたと僕の恋  
ああ さよならをしなくっちゃ  
しょうがない さよなら  
さよならをしなくっちゃ

## ボトルキーブ

あなたのため息を 飲み込んでるような  
うす暗いこの店を フラリと一人で訪ねた  
いつものマスターが 「お久し振りだね」と  
キーブしたボトルナンバー 忘れずに出してくる

一人では多いけど 今夜で飲み尽くそう  
空にして忘れよう あなたへの思い 断って...

あなたの口癖が グラスによみがえる  
一人ぐらい酒が似合う 女がいてもステキでしょう  
夜が一番好き わたし悪い女  
一人ぐらい夜が似合う 女がいてもいいと

悪ぶっていたけれど 僕にはわかっていた  
誰よりも優しくて 壊れやすい女だと...

あの時もフラリと 一人で立ち寄った  
いつもとは違う席に 誰かと二人で飲んでた  
額で分けていた 肩に乗せた髪が  
驚きのポップヘアー 思わず顔伏せた

店を出るその時に 「ごめんね、許してね」と  
消えた人 思い出に変えて 飲み干そう 今夜...

## ごめんなさいそしてありがとう

空を見上げて 星を見つめる  
この数え切れない 無数の星の中  
にじんで光る あのふたつ星  
あの星に二人の 夢を重ねている

やさしく光る あのふたつ星に  
何も言えなくて 今はごめんなさいと  
そして ありがとう

私の星を 探し続けて  
歩き続けて来た そんな気がしている  
静かに光る 確かな星を  
今私はそっと 胸に抱きしめてる

そばに居たのに 遠回りしたり  
わがままばかりで 今はごめんなさいと  
そして ありがとう

私もいつか あの星のように  
なってみたいけど 今はごめんなさいと  
そして ありがとう

## 風の桜衣

山里を染めて咲く 小彼岸桜  
風を呼び 風に乗る 空に流れ行く  
かなしい程に 澄んだ青空の中  
はじけ散る 桜吹雪 春景色  
いつ誰が名付けたか 高遠桜嵐

山里の人は言う あれはあの女の  
切なさつらさと哀しみが 染め上げたのだと  
道理を忘れた 恋におぼれた罪と  
裁かれて落とされて 流された  
あの女のはかなさを 飾る桜衣

山里に流された その女は絵島  
美しい女ゆえの 恋の濡れ衣  
女盛りの花を 散らした絵島  
泣き濡れて あきらめて手を合わす  
山里の赤い桜 絵島の物語り  
山里の赤い桜 絵島の物語り

そまびと  
風の柚人

～天保義民150年祭記念「天保義民のうた」～

夢を見る男なら 何んにも言わずに 目を閉じて  
この胸にたぎる血を 一人抱きしめ  
無常なる移り世に 生まれた証を捜す

風よ吹け 痛い程に吹くがいい  
好きなだけ 何処からでも吹くがいい  
胸を張り 面上げて 風の前に立つ

人の世の不条理に倒れて 別れを告げて逝った  
あの声が木霊する 鹿深の里に  
忘れるな柚人の 気高い拳と涙

風の中吹かれるより 吹きかえし  
風向きを計るよりも 身を反転し  
立ち上がれ 舞い上がれ 熱い風に成れ

運命ならそれもいい 夕日に染められ翻る  
炎にも似たはためきは 命の花か  
陰で泣く女子のしずくを 含んだ花か

風よ吹け 時代を越えて 吹いて行け  
伝え行け 誇り高き 柚の風  
風に成り 駆け抜けた 風の柚人  
風に成り 駆け抜けた 風の柚人

この町がふる里

鳥たちよ 花たちよ 虫たちよ 今日覚めゆけ  
風たちよ 土たちよ 水たちよ 今日甦れ

今日も昇るこの太陽を 丸ごと手渡そう未来に  
この町がふる里 いつまでも大好きなこの町

鳥たちよ 花たちよ 虫たちよ 今日覚めゆけ  
風たちよ 土たちよ 水たちよ 今日甦れ

今日も寄り添う恋人たち 唇から愛が溢れる  
この町がふる里 いつまでも大好きなこの町

鳥たちよ 花たちよ 虫たちよ 今日覚めゆけ  
風たちよ 土たちよ 水たちよ 今日甦れ

今日も駆け回る子供たち 丸い頬に光はじける  
この町がふる里 いつまでも大好きなこの町

鳥たちよ 花たちよ 虫たちよ 今日覚めゆけ  
風たちよ 土たちよ 水たちよ 今日甦れ

鳥たちよ 花たちよ 虫たちよ 今日覚めゆけ  
風たちよ 土たちよ 水たちよ 今日甦れ

いずこ  
何処へ

懐かしさに佇めば 過ぎにし日が甦る  
いとしき友 愛する人よ  
何処の空の下に

時は巡り 花は褪せても  
志を果たして 眠らん

黄昏色 立ち込めて 一番星瞬けば  
祭のあと 宴のあとの  
静寂が我を包む

尽きぬ想い 熱き涙よ  
夢のつづき 明日へ歩こう

いつの日にか 見えん 先立たれし魂に  
終わりのない船出のために  
闘う兵士なれば

何のために 汝れは生まれて  
何処へ帰る この旅終えたら

何のために 汝れは生まれて  
何処へ帰る この旅終えたら

何のために 汝れは生まれて  
何処へ帰る この旅終えたら

Musicians

辻 幹雄 *Guitar* M5  
佐藤浩司 *Guitar* M2,3,5,6,7,8,9,12,13  
西村和彦 *Piano* M2,3,5,6,8,12,13  
藤岡敏則 *Bass* M2,3,5,6,8,12,13  
菊地丈夫 *Drums* M2,3,5,6,8,12,13  
白神あき絵 *Vc* M3,7,8,13  
青木史子 *Vla* M3,7,8,13  
伊勢三木子 *Vn* M3,7,8,13  
TOSHITARO *Bass* M4,7 / *Chorus* M12,13 / *Keyboard&Computer Programming* M2,3,4,5,6,12,13  
木村正貴 *Vn* M3,7,8,13  
仙道さおり *Percussion* M6,7  
藤田明夫 *Saxophone&Flute* M6,8  
matsumonica *Harmonica* M12  
小池弘之 *Vn* M4  
小畑和彦 *Guitar* M4  
高橋卓志 読経 M1  
伊東心平 *Guitar* M14

Staff

Recording at Power House Recording Studio  
M2,3,5,6,7,8,9,12,13 2004.7.15~22

Produced by 山崎良弘 / 手仕事屋さち兵衛

Sound Direction TOSHITARO

齋藤 清 *Jacket Drawing*

宮下常雄 *Inner Photo*

保多俊彦 *Jacket Design*

有馬英之 *Recording Engineer*

中里隆夫 *Assistant Engineer*

野田俊典 *Mastering Engineer*

Special Thanks

横須賀ふみ  
日本工学院専門学校 音響芸術科  
浅間温泉 神宮寺アパロホール  
千田裕之 (スペース・コーポレーション)

発売元  
風の誘い舎  
TEL:0263-46-0573  
<http://www.asama-tamanoyu.co.jp>